

一般質問

町外から通勤する

職員の実態は

問 大規模災害時における職員への対応は個別に連絡をとるシステムをとっている



三谷幸一郎 議員



岩崎 町長

新人議員の三谷幸一郎と申します。弱者者ではありませんが、1期4年間全力投球で、大豊が少しでも元気な町になるよう頑張っていますので、何とぞよろしくお願いいたします。

先の東日本大震災とニュージールランドのクライストチャーチでの震災に遭われた皆様方に、心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。
今、町外の方との結婚等での職員は除く、町外通勤職員は何人が。

98人の職員のうち、町外から通勤している職員が29人で、そのうち結婚により町外に出た職員は8人である。

三谷幸一郎議員
大規模災害時に、職員の退庁後の緊急対応はどうなっているか。

岩崎町長
災害等への対応計画があり職員連絡網により個別に連絡をとるシステムをとっている。

三谷幸一郎議員
雇用主である町民からすれば、町外通勤者が2

割強というのは異常であると思う。町外通勤職員は大規模災害により町が孤立し、長期にわたり町内に入ることができない事態も想定できる。こうした大規模災害時にはまず人材確保が急務であり、全職員が町内に在任しておれば情報収集や捜索、復旧等に早急に対応できるが、今の状態は大いに問題があると思う。

今一度、職員は住民サービスをもって給料をいただいているということとを真剣に考えていただきたい。

今の大豊町を救うキーワードは、町民が一丸となる郷土愛だと私は思う。町職員の郷土愛は、まず町内に住民票があり生活することだと思いが。

岩崎町長
自治体の職員は、その自治体のエリア内に住むことが必要だと思っているが、法的な制限もある。町外に住んでも町

内に住んでいる職員と同様に大豊町のことを思い、一生懸命に公務に専念する環境を作っていくのが私の責任である。全職員がそれぞれの地域を担当する制度で職員が活動するなど、住民の皆さんとのいいコミュニケーションづくりを努めている。町外に住んでいる職員が町民に対する説得力という点でハンディがあることを自覚し、進んで努力する職場の環境を作ることが必要だと思っている。住民の皆さんにしっかりと評価をしていただける職場づくりに努める。

一般質問

ふるさと納税の実態は

問 町外から通勤する職員の実態はふるさと納税の件数は

答 6件である

三谷幸一郎議員
現在までふるさと納税の実績は。

と納税の件数は。
岩崎町長
3年間で6件である。

岩崎町長
平成20年度、21年度、22年度合わせて、納税者35人、納税額197万円である。

三谷幸一郎議員
町外通勤職員の実態は

一般質問

大豊町の自然を愛する人たちの交流を

問 交流事業の成果は現時点で成果を示す状況に至っていない

三谷幸一郎議員
町内には梶ヶ森ほか、魅力ある山々や清流吉野川のラフティング等、たくさん素晴らしい大自然、観光資源があり、この大自然が好きで好きで

たまらない、I・Uターンの人たちが大勢いますが、町長はことある毎に「ふれあい、交流」と言うが、その人たちと町職員との交流の場を持ってはどうかと提案するが。



ラフティング

岩崎町長

多方面の意見を伺いながら交流事業の計画等を進めている。

地域における課題についても共有していただければよい場を作るといったことは必要だと思っている。

三谷幸一郎議員

近畿日本ツーリストよ

り出向してきている職員について、もう1年経つが、現時点での成果、効果等はどうか聞か。

岩崎町長

近畿日本ツーリスト株式会社と町との契約により、交流事業をプロデュースしてもらった内容であり、1人の職員が大豊町

に実際に住んで、職員と共に取り組んでいる。

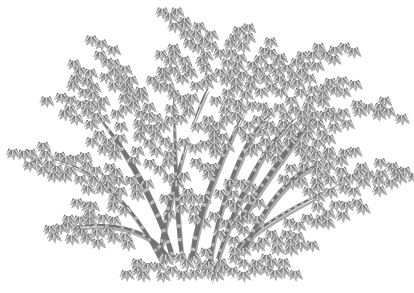
今までいろいろなイベントをやってきたが、商品としてのレベルまでにはなっており、3年かけて商品として販売できる形にもっていく取り組みをしている。

三谷幸一郎議員

観光情報誌に役場本庁の電話番号が、問い合わせ先として記載されているが、組織改革等により大豊町総合ふれあいセンターへ移ったと聞か、対応は十分できているか。

岩崎町長

情報は非常に大事であり、交流ネット的な情報の一元化という視点で、現在いろいろな方のご意見等も取り入れながら検討している。役場に電話があった場合は、それぞれのお客さんに対してしっかりと対応を行っている。



一般質問

ふるさと納税の実態は

問 町外から通勤する職員の実態はふるさと納税の件数は

答 6件である

三谷幸一郎議員
現在までふるさと納税の実績は。

と納税の件数は。
岩崎町長
3年間で6件である。

岩崎町長
平成20年度、21年度、22年度合わせて、納税者35人、納税額197万円である。

三谷幸一郎議員
町外通勤職員の実態は

一般質問

大豊町の自然を愛する人たちの交流を

問 交流事業の成果は現時点で成果を示す状況に至っていない

三谷幸一郎議員
町内には梶ヶ森ほか、魅力ある山々や清流吉野川のラフティング等、たくさん素晴らしい大自然、観光資源があり、この大自然が好きで好きで

たまらない、I・Uターンの人たちが大勢いますが、町長はことある毎に「ふれあい、交流」と言うが、その人たちと町職員との交流の場を持ってはどうかと提案するが。

三谷幸一郎議員

町内の観光情報や全ての道路情報等を各関係機関と情報を共有し、リアルタイムで提供してもらいたい。

ゆとりすと放送等で様々なイベントを催し発信しているが、果たして

一般質問

政府のTPP参加に

しんごの町長の見解は

問 本町にどのような影響があるか一次産業が壊滅的な打撃を受ける



前野由和 議員

TPP（環太平洋連携協定）へ日本が加入した場合の影響を農林水産省の試算を基に判断すると、国内経済では輸出産業を中心に10・5兆円の利益があり、一次産業を中心に7・9兆円の損失だと試算されている。差し引き利益が3兆円だが、田畑や森林が果たし

ている多面的な機能を金額に換算すると内閣府の試算で4兆円といわれており、差し引き1兆円の損失となり、一次産業において壊滅的な打撃を受けると指摘されている。

本町にとって園芸販売、林業販売額にどのような影響があるか。

岩崎町長

数値的に試算したものはないが、本町の一次産業が壊滅的な打撃を受けただけでなく、社会の基

これが、職員等に周知徹底されているのか。

岩崎町長

町内各地域で様々な催しをしているため、全てについて職員に周知されている状況にはないと思っている。

本の部分が崩壊すると受け止めている。国土と産業の均衡ある発展のため、我々の意見をしっかりと国に対して届けていくべきと考えている。

前野由和議員

郵便局民営化見直しによって安否確認等の地域力を活用できるが、法案成立に向けての町内世論を高めるための考えを聞く。

岩崎町長

全国同じサービスが必要だと思っている。地域のことを考える場合、役場や郵便局等が、それぞれの立場で住民のために行動できる地域でなければならず、また住民にそういうことが伝わる役場や、郵便局等でなければならぬと考えている。

